

堀川正幸君 冬もあと1カ月です。皆さま体に気をつけて乗り切りましょう。

本間茂男君 山口さん楽しい話をありがとうございます。

山下厚君 ボックスに協力。

淵岡茂君 山口さんの卓話楽しみです。

稲田憲治君 寒いと腰にきます。暑いと頭にきます。くる度に、そのつど楽しんでいます。

村山誠一君 山口会員卓話御若労様です。

白崎哲男君 ニコニコに協力して、

早川滝雄君 2月2日、3日と社員と豪雪の松の山温泉へスキー旅行に行ってきました。スキーより温泉が最高でした。

梨木建夫君 入会してはや1カ月……ヨロシク!!

大野新吉君 毎週1,000づつ協力しても6月末になっても規定の額には不足をきたします。もっともっと協力しましょう。

石月雅司 新年会欠席してしまいました。すみませんでした。

落合益夫

米山忠俊君 ニコニコBOX御協力よろしくお願い致します。

ロータリー財団：

佐藤啓策君 長女の和佳子が、南イリノイ大学に入学しました。

卓 話： 「私の海外ビジネスレポート」～中国への工場進出について 山口龍二君



1. 進出の為の要件

工場進出に当たって考慮した方が良いポイントは下記の通り

①労働集約型産業である事

最近急上昇しているとは言えコストが安く未熟練労働者の多い中国の人的資源を活用出来る業種の方が良い。高度なメンテナンス技術を要求される装置産業は不向き。

②日本側がその製品の市場を持っている事

製品の全量買取りが可能であれば、現地合併企業に対する発言力が強化でき、しかも経営状態をコントロールできる。

③信頼性となる程度の経験の有るパートナーを選択する事

中国の許認可手続きは非常に繁雑であるので、現地で政治力を持ったパートナーを選ぶ事が肝要である。その意味ではできるだけ中央政府に近い機関の方が良い。

④出資比率はMAJORITYとする事が望ましい

中国では多数決の原則が通じにくいのでMAJORITYを持っても発言力を確保できるとは限らないが、出資比率に応じて派遣する役員（董事）の数が多ければ望ましくない議決は否決できる。

⑤総経理は日本側から派遣した方が良い

中国の企業では一般的に総経理（支配人）が役員会（董事会）の委託を受けて経営を行うという形を採っている。以前は中国側のポストであったが、一昨年あたりから経営効率の向上の為外資側からの総経理派遣を認めるようになってきている。工場長或いは技術部門担当の派遣も必要と思われる。また、今年3月開催予定の全人代で合併企業法の改正が承認されれば、外資側から董事長（会長）を派遣する事も可能となる見込みである。

⑥優秀な総務、人事担当（現地人）を確保できる事

日本とは全く異なった行政機構、労働環境の為、役所対策、労務対策をスムーズに行える人間の確保が必要。

⑦できるだけ多くの材料、副資材の現地調達が可能である事

外貨収入を有効に使い、採算を向上させるにはできるだけ現地調達比率を上げた方が良い。但し、品質、納期などの信頼性評価法の確立が不可欠。

⑧華橋との共同出資はできれば避けた方が良い

日本人と華橋、特に香港人とは企業経営に対する哲学が異なるので、問題が発生した場合一致した対応が取りにくいケースが見られる。

2. 合作／合併企業の運営面での問題点

①外資側に公開しない内部通達が有る

中国では現在、共産党と国務院による二元管理体制が採られている。各省、市などの出先でも同様の管理体系になっており、それぞれが時に応じて通達を出して来るが、全てが外資側に公開されている訳ではない。特に労働組合（工会と呼ぶ）の活動に関する党関係の通達はほとんど外資側には知らされない。また、党の行事が優先する事が多い為予定の業務に支障を来すケースも見られる。

②企業経営に対する考え方の相違

体制が異なる為、経営に対する考え方に相違が有るのは当然ではあるが、従来からの国営工場での知識と経験に基づいて発想、行動するケースが多く、日本側が理解できない提案が出される事が有る。特に、中、長期の経営方針、計画の策定をいやがる傾向が強い。これは従来から政府方針が右、左といつも揺れ動いて来た為、企業として方針を立ててもその通り実行できなかった事が最大の原因であろうと思われる。

③強い平等意識と階級意識

相反する要素だが現実にははっきりと認められる。平等意識はどちらかと言えば悪平等の方が目立ち、能力にかかわらず同一業務は同待遇となっている事が多く、全体のモラル、質の低下の最大の原因になっていると考えられる。ところが一方では、階級制度を否定しているはずの共産主義でありながら、大学卒、幹部の子弟などは現場の工員とははっきり区別されているという現象が見られる。特に臨時工で党員でも無い場合は待遇面でもはっきり差別されており、工